

地区大会総合開会式・交流会

第5回 夏季地区大会総合開会式

5月28日(日) 東郷湖羽合臨海公園ハワイ夢広場(湯梨浜町)

参加したアスリート40名は、各プログラムに分かれ、杉原副会長の先導で元気よく行進し、アスリート代表の山口真代さん、清水洋一さん、市原虹児さんが力強くアスリート宣誓を行いました。

アトラクションでは鳥取短期大学幼児教育保育学科2年有志の皆様がダンスを披露していただき、全員で楽しく踊りました。

交流会では、普段は各プログラムで活動しているアスリートやファミリー、ボランティアや応援に駆け付けて下さった来賓の方々や会員の皆様と「ポッチャ」を楽しみました。

各競技は、6月18日(日)の卓球競技より順次開催されました。



会員交流会

5月28日(日) カフェイッポ

総合開会式・交流会後に、開会式会場隣のカフェにて、昨年からの開催している「会員交流会」を開催しました。

今年は賛助会員の皆様やアスリート、ファミリーの参加もあり、賑やかに楽しく、更なる交流を深めました。



コーチクリニック

4月23日(日) 米子サン・アビリティーズ

SON・岡山より小宮山幸治トレーナーをお迎えし、ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解・バドミントン競技講義、実技を開催しました。

小宮山トレーナーの体験を交えた講義に参加者も熱心に、時には楽しく受講しました。



地域のイベントに参加しました

全日本トライアスロン皆生大会ボランティア

7月16日(日) 米子市

19人がRUN(マラソン)のエイドステーション(A.S.)にボランティアとして参加しました。

当日も最高気温が33℃を超える暑い日で、参加選手1,000人超中、1割を超える人が完走できませんでしたが、A.S.には中学生もボランティアで参加していましたが、午後7時には帰ってしまい、スペシャルオリンピックスと他の団体10人ほどとなり、氷を砕いたり、コップに移したり、果物などを切ったり非常に忙しくなりました。出来たものを選びに提供したり、水をかけたり、コップを回収して洗ったりを、アスリート達は最後の選手まで励まし、応援しました。今回参加したことで、2つの嬉しいことがありましたので紹介します。



■元気になった!

ボランティア参加は、今年で3回目です。21歳と19歳の子供と一緒に参加しました。選手に水をスポンジでかけたり、コップを片付けたり、自分たちが出来るお手伝いを一生懸命にしていました。応援していると選手の熱い思いが伝わり、今年も沢山の元気をもらいました。実は、19歳の子は、昨年より引きこもりになっていました。陸上の練習に参加して走ることで少しずつ外へ出ることが出来るようになっていましたが、今回のトライアスロンが終わった後はよりいっそう元気になり、久しぶりに生き生きとしている顔を見ることができ、嬉しかったです。徳万和子(ファミリー)

■アナウンサーとの再会

12年前、鳥取県でスペシャルオリンピックスの活動を開始したとき、NHK鳥取でSON・鳥取(まだ準備委員会にもなっていなかった)の活動がテレビで紹介されました。NHK鳥取で初めての紹介でした。その時の担当アナウンサーさんがNHKを退社され、「DARAZ FM」に移されましたが、たまたま私たちが活動しているA.S.に取材に来られ、実況放送で市原広報委員長がインタビューを受けました。当時、風邪にもかかわらず、米子まで出掛けて取材してくれたアナウンサーと懐かしい出会いが出来ました。松本真二(ボランティア)

ふれあいはあまつり

6月3日(土) 藤井政雄記念病院周辺

社会医療法人仁厚会・社会福祉法人敬仁会のイベントに今年もPRブースを設けていただき、来場の皆様へSON・鳥取の活動をPRしました。



鳥取県障がい者スポーツ大会兼 全国障害者スポーツ大会選手選考会

5月13日(土)・14日(日) 鳥取市

卓球・水泳・ボウリング・陸上・フライングディスクの各競技に、アスリート有志が参加しました。



プログラム紹介

※体験・見学をご希望の方は事務局までご連絡ください。

卓球プログラム(鳥取)

日時: 毎月第2・第4日曜日

10:00~12:00

会場: 鳥取市高齢者福祉センター体育館

登録アスリート: 24名

ボウリングプログラム(鳥取)

日時: 毎月第2・第4日曜日

16:30~18:00

会場: 鳥取スターボウル

登録アスリート: 11名

